

TOEICスコアアップを目標とした自律学習者を育成するための 授業方略に関する研究

Research on Teaching Strategies for Fostering Autonomous Learners with the Goal of Improving TOEIC Scores

原 めぐみ

Megumi Hara

キーワード：自律学習者、TOEICスコアアップ、英語学習方法、英語教授法

1. はじめに

追手門学院大学国際学部は2022年に国際教養学部が改組され、グローバルスタディーズ専攻と国際文化専攻という2つの専攻が設置された。改組に伴いカリキュラムも改訂された。

以前の国際教養学部のカリキュラムでは英語科目が1、2年次に集中し、1年次の全員留学でスキルアップした英語力は、3、4年では、専門科目と演習科目のみになり、3年次以降は伸びなくなっていた。国際学部ではディプロマポリシーのひとつでもある言語運用能力をTOEIC® Listening&Reading Test（以下TOEIC）等のスコアを用い達成度を測ることとした。グローバルスタディーズ専攻では、3年修了時に650点、4年修了時に750点を、国際文化専攻では3年修了時に550点、4年修了時に650点の達成を目指す目標を掲げた。新カリキュラムでは、この目標を達成するために、3年次にTOEIC500点未達の学生を対象としたEnglish 5」という科目を設置し、「English 5」履修後も500点未達の学生を「English 6」の履修対象者とした。本稿では「English 6」の対面授業「English 6A」で行われた授業方略について報告する。

2. 問題と目的

国際学部の学生は1年次に全員1年間EduLixの「Kick Off for the TOEIC」というオンライン教材でTOEICの問題形式や解答方法を学習している。2年次には、オンラインの語彙学習ツールQuizlet等を使用し、1年間を通して語彙学習を行っている。これらはどちらも授業評価の一部の課題として取り組むことになっている。

「English 6A」を履修している学生は、英語面では基礎的な語彙力の不足や現在完了形や受動態などの基本的な文法事項の理解があいまいであることが分かった。さらに基礎的な英単語を正確に発音することができない学生も見受けられた。入学してから今まで1年次に3回、2年次に2回、3年次に1回TOEICを受検しており、TOEICの問題形式には慣れているため、授業では教科書のTOEIC形式の問題に取り組みながらも、語彙学習を重点的に行うこととした。

もう一つの問題点として、学生の出席率はおおむね良く、授業態度は積極的であったが、課題を締め切りまでに提出することができない学生が多く、学習時間の管理ができていないことがわかった。このような学生の特性から従来の一斉授業のような英語授業ではなく、自分の興味応じたコンテンツを使い、自主的に学習を計画し進める自律学習的TOEIC学習を本授業のメインストリームとして実施することにした。

3. 研究の背景

「オートノミー（自律）」という言葉は小嶋他（2010）によると、20世紀の西欧思想のキーワードであり、今は世界各国の教育目標と見なされている。そのような広がりと共に「オートノミー（自律）」の定義も発展し続けているが、日本の英語教育の立場から小嶋（2007）が定義したものが以下である。

学習者が発達段階に応じて自分の言語学習に責任を持ち、学習内容・方法の決定およびプロセスにできるだけ積極的に関わり、学習効果を自ら反省・評価しながら、自分の言語学習を主体的に持続・発展させようとする意欲・能力。

以上のように「オートノミー（自律）」は英語教育の文脈で定義づけられているが、そのような学習者の自律性を育成することについて、加藤他（2021）は、「自分の学習に関する意思決定を自分でできる能力を育てること」と述べている。さらに、加藤他（2021）によると、授業で学習者の自律性を育てる時のポイントは「意思決定プロセスに学習者自身が主体的にかかわっているかどうか」が重要であり、つまり「自分の学習をセルフプロデュース」できるようになることを目標とすることとなっている。

加藤他（2021）では学習者の自律性を育む上で扱うトピックとしては、下記のものがあげられている。

- ビジョン、目標設定
- 学習スタイル
- リソース・教材の選定
- 学習方法、学習計画
- 時間管理
- モチベーション管理

これらの要素を本授業のTOEICプロジェクト（自律学習）に取り入れることとした。

さらに小嶋他（2010）は図1が示すように「自律した学習者はメタ認知をもった学習者と言える」とし、メタ認知の定義は文部科学省が示す「生きる力」の類似点があるとしている。つまり、自律学習者になることは、TOEICスコアアップ以外の学習に応用できると考えられる。

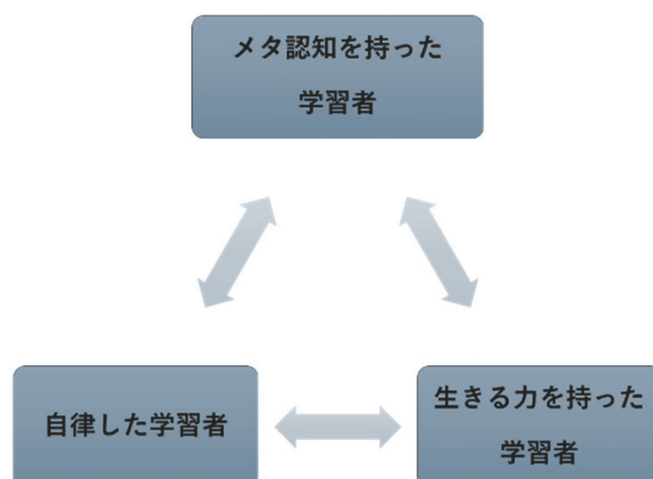


図1：メタ認知と学習者（小嶋他，2010）

4. 研究の方法

調査対象は「English 6A」を履修している3年生18名である。TOEICスコアアップを目標とした自律学習に関する授業内外の学生の課題および、授業最終日に実施したアンケート、学生が受検したTOEICスコアの結果をデータとして収集し分析する。

5. 結果と考察

5. 1 「English 6A」の履修対象者

1年次の3回のTOEIC、2年次の2回のTOEIC受検および、外部受検において一度もTOEIC500点以上を取得していないものを3年次春学期に「English 5」の対象者とした。「English 5」履修後も500点未達の53名の学生を「English 6」の履修対象者とした。春学期の7月に受検すべきTOEICを受検していない学生35名を「English 6B」のオンライン授業に配属し、それ以外の比較的学習意欲があると考えられる18名を「English 6A」の対面授業に配属した。

5. 2 「English 6A」の授業概要と目標

授業概要は実際のTOEIC形式の問題を解き、また、問題を解答するだけでなく、TOEICの問題作成を行うことによって、問題形式を深く理解し、その対策が行える力を養う。国際学部最後の必修英語科目となるため、卒業後も自律学習者になるために、単語帳や問題集以外の学習方法を紹介し、学生が自ら計画を立て、調整を行いながら学習を行うことを目標とする。

成績評価は、TOEICスコア20%、TOEICプロジェクト（自律学習についての発表、進捗状況提出）20%、授業内課題（文法問題解説）20%、授業外課題（プリント、予習）20%、授業参加度10%、Quizlet10%（オンライン語彙学習）の配分により総合的に評価した。

5. 3 教科書

教科書は「English 5A」で使用した桐原書店の「MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC(R) L&R TEST All in One [New Edition]」を引き続き利用した。「English 5A」と「English 6A」は同じ教科書を使用した。異なる教員が担当し、「English 5A」ではUnit1～7を「English 6A」ではUnit8～15を学習した。

教科書の構成は各Unitにリスニングとリーディングパート、解説、練習問題、TOEIC問題形式の問題があった。教科書の補助教材のUnitテストリスニングパート、Unitテストリーディングパート、Words and Phrases Review Testは印刷し、授業のウォームアップやまとめとして使用した。課題提出には本学LMSのCanvasを使用した。

5. 4 スケジュール

13回の授業スケジュールを表1に示す。授業内で教科書の問題の解答と解説を、授業外で語彙学習と自律学習ができるようにデザインした。

授業最終回のTOEICの受検は授業時間内で終わるために、TOEIC L&R IPテスト（オンライン）を利用した。このテストはリスニング45問、リーディング45問の計90問で所要時間は約1時間である。本テストを利用することにより、結果が授業中のテスト終了時にわかり、欠席の場合でも自宅で受検することが可能になる。

表1：授業スケジュール

授業回	教科書	語彙学習	自律学習
1	オリエンテーション		
2	Unit 8 ラジオ放送・宣伝 (Part4) ペアでReading Part の解説／ 全員で該当Partの問題作成 (毎回)	QuizletでTOEICの語彙 学習	Chat GPTを使ったスピーキング (リスニング対策)
3	Unit 9 接続詞・前置詞 (Part 5)	QuizletでTOEICの語彙 学習	えいごネットを使用したリーディ ング問題作成 (Part6対策)
4	Unit 10 Yes/No疑問文 (Part 2)	QuizletでTOEICの語彙 学習	映画のセリフを元に会話文問題作 成 (Part3対策)
5	Unit 11 ダブルパッセージ (2つの文書) (Part 7)	QuizletでTOEIC語彙テ ストの結果提出	有名な英語のスピーチを使用し 語彙学習と問題作成 (Part 4対策)
6	TOEICプロジェクトについて説明と計画	QuizletでTOEICの語彙 学習	学習方法の計画
7	Unit 12 オフィスでの会話 (Part 3)	QuizletでTOEICの語彙 学習	進捗状況の提出 1
8	Unit 13 Part 5の復習 (Part 5)	QuizletでTOEICの語彙 学習	進捗状況の提出 2
9	Unit 14 留守番電話 (Part 4) ／ トリプルパッセージ (3つの文書) (Part 7)	QuizletでTOEIC語彙テ ストの結果提出	進捗状況の提出 3
10	Unit 15 Part 3とPart 4の復習 (Part 3, Part 4) ／Part 6の復習 (Part 6)	Quizletで自分の語彙セッ トを作成	進捗状況の提出 4
11	TOEICプロジェクトについて発表	Quizletで自分の語彙セッ トを作成	進捗状況の提出 5 ／ 学習結果の発表
12	TOEICプロジェクトについて発表	クラスメイトが作成した Quizletのセットを学習	進捗状況の提出 6 ／ 学習結果の発表
13	オンラインTOEIC受検		

5. 5 授業展開例

105分の毎授業回の典型的な展開例を以下に示す。

- a. 宿題のUnitテストの答え合わせとペアで暗唱（定型表現の導入）（20分）
- b. 自律学習のための英語学習法の紹介とTOEIC形式の問題作成（30分）
- c. ペアでクラス全員にReading Partの解説（25分）
- d. カードを使用したListening Partの解答（25分）
- e. Words and Phrases Review Testで語彙の再確認（5分）

5. 6 授業内活動

5. 6. 1 Unitテストを定型表現の導入とウォームアップ活動として使用

教科書の補助教材であるUnitテストリスニングパートとリーディングパートをテストとして使用するのではなく、授業外課題にし、授業の最初に答え合わせをした。基礎的な英単語を正確に発音することができない学生が多いことがわかったため、TOEICでは発音をする機会はないが、正確な音が分かっていないとリスニングができないため、ペアで定型表現を暗記する活動をウォームアップ的な要素として取り入れた。中田（2023）も「定型表現を多く知っていると、相手の言うことを最後まで聞かなくても、何を言おうか予測することができます。（中略）そのためリスニングの流暢性があがります。」と述べている。

この活動は資料1の1フレーズを覚えたペアから挙手し、一人が日本語、もう一人が英語を言い、正確に言えればポイントをもらえるというシンプルなものであったが、学生は速さや正確さを競っていた。1時間目の授業であったが、アクティブに授業をスタートすることができた。それと同時にその日の問題解答に必要な語彙をインプットすることができ一石二鳥の活動であった。授業開始時に出席している学生は、授業参加ポイントとその日に使用する語彙が学習できるという利点があり、1時限目であっても遅刻せずに出席しようとする姿勢がみられた。これらのワークシートはCanvasにアップするのではなく、印刷した紙のプリントを使用した。プリントは出席をしないと配布されないため、1時間目の授業で就活や教職課程の介護等体験などの時期と重なったが、出席率は学期を通し75%程度と概ね良好であった。

5. 6. 2 自律学習のための英語学習方法の紹介とTOEIC形式の問題作成

単語帳や問題集以外の英語学習方法やコンテンツを教員が紹介し、学生はそのコンテンツを使った問題を作成し、お互いの作成した問題を解いた。関戸他（2017）の研究では、TOEIC対策としてTOEICの問題作成を学生は肯定的に捉え、英語力がやや上がり、テストへの関心が高まったと学生が答えていたことから、本授業でも問題作成の課題を授業内に組み入れることにした。問題作成をすることで、問題を解く時にどこに注目すれば解答できるか、解答者を迷わせるために、正答以外の選択肢をどのように設定するのかなど、違った視点からTOEICテストに取り組むことができた。次にPartごとの問題作成例を示す。

Part 1 写真描写問題

夏休み後の授業であったため、TOEICのPart 1 の写真描写の問題の様に夏休みに学生自身が撮った写真をCanvasにアップし、写真を描写するA, B, C, Dの4文を作ってもらいPart1のリスニング問題を作成させた。その後写真について英語で追加説明をし、自己紹介の代わりとした。

Part 2 応答問題

映画やインタビューの会話から応答問題を作る練習をした。鶴岡他(2022)の映画シナリオで学ぶ英語表現から『ノッティングヒルズの恋人』からのセリフを以下の問題を例として提示した。

A: So tell me Anna, what do you do?

B: 1. I am an actress.

2. I am in the meeting.

3. Anna is making some documents.

学生が作成した応答問題

A: What made you come to Japan?

B: 1. It took 12 hours.

2. I think that Japanese is so hard for me.

3. Because I want to study culture.

Part 3 会話問題

ChatGPTと英語で会話をし、その会話の一部をスクリーンショットで提出させた。問題作成は行っていないが、英語を読んだり、聞いたりすることがそもそも苦手な学生でも、楽しみながら学習できると思い、自律学習の学習法の一つとして紹介した。実際に自律学習の学習方法としてChatGPTを使用した学生は、アンケートで「TOEICのために勉強するという感覚でしていなかったから。(英会話のために学習していた。)」からこの学習方法は継続できたと述べていた。

Part 4 説明文問題

有名人のスピーチをYouTubeで見て、リスニングと語彙力をつける学習方法を紹介した。就活活動真ただ中の3年生に響きそうなスティーブジョブズのスタンフォード大学でのスピーチを例として使用した。学生はBTSのUN 2018スピーチ、スターバックス創業者、セレーナゴメス、ハーバード大学の2024卒業式スピーチ、ヒラリークリントン等によるスピーチを題材として選択した。

この方法を自律学習として取れ入れた学生は、自律学習振り返り発表のスライドに「多くの人の考えや大切にしていることを知ることができ、自分も大切にしたいという考えがあった。」と書いており、TOEICのスコアアップだけでなく、コンテンツから学ぶことがあったことがわかった。

Part 5 短文穴埋め問題

授業内外で出会った知らない単語をノートあるいはスマートフォンのメモなどにリストを作るように指示し、月に一度提出させた。その単語を使って短文穴埋め問題を作った。

Part 5は一番学生が作成しやすいパートであるため自律学習の成果を発表する最終発表では多くの学生がこのPartの問題を作成していた。

Part 7 読解問題

「えいごネット」から記事を選び、Part 4のリーディング問題を作成した。「えいごネット」は一般財団法人英語教育協議会（ELEC）と文部科学省が運営している英語教員のためのポータルサイトで、やさしい英語ニュースが無料で読めるサイトである。関戸他（2017）では、Part 7の問題作成をする際に学生にTOEICに出そうな記事を探すために読む量が増え、それがリーディング力をアップすることを目標としている。本授業では、500点以上を目指す授業であるため、「えいごネット」という範囲を決め、「えいごネット」の中から自分の興味のある記事を探させた。特に長文を読むということに抵抗がある学生も多いため、心理的負担を少なくするために記事自体は易しいものにし、問題を作成する方に注力させた。以下が例である。一人の学生は「フランス、バケットの香りをする切手を発売」という記事を選び、TOEIC形式の4択の問題を作成した。



フランス、バケットの香りをする切手を発売
France launches scratch-and-sniff stamps that smell like baguettes

The French postal service La Poste has put the smell of baguettes on new postage stamps.

The stamps are worth €1.96 (¥315) each and can be used for international letters weighing up to 20 grams.

The stamp shows a baguette tied with a *tricolor* ribbon of the French flag. It gives off the smell of freshly baked baguettes when you scratch it.

和訳

フランス郵政公社・ポストが新たに発行した切手は、バケット（フランスパンの一種）の香りがする。この切手は1枚1.96ユーロ（約315円）で販売されており、20グラムまでの国際郵便物に使用できる。切手にはフランス国旗のトリコロールのリボンで結ばれたバケットが描かれており、こすると焼きあかしたバケットの香りがするという。

キーワード

scratch	（動詞） 傷つける
scratch	こする
sniff	匂いをつとめる
stamp	切手
smell	臭いがする
baguette	バケット、焼きたてのフランスパンの一種
postal service	郵便サービス、La Poste はフランス郵政公社
postage stamp	郵便切手
up to ~	～までの
tie	～を結ぶ
tricolor	トリコロール、フランス国旗の色、赤・白・青
give off	発する、出す

図2：えいごネットの記事

1. What is written on the stamp ?
- A French flag.
 - B The price.
 - C Tricolor ribbon of the French flag.
 - D Madeleine.

5. 6. 4 ペアによるReading Part 5、6、7の解説

他の学生に教科書の文法問題の解答の解説をすることで、深く文法や問題の形式・構造を学習する機会になった。学生は教員が解説をするよりも他の学生の説明を熱心に聞く傾向があり、解説があいまいな場合は教員が補足した。

5. 6. 5 授業内でのリスニングPartの解答

授業初日に全員にA、B、C、Dと書いてあるカラーのカードを配った。答え合わせをする際に全員の回答が一瞬でわかり、その問題の解説をすべきか、リスニングをもう一回聞かせるべきかどうかの判断になった。学生も毎回カードを上げなければならず、聞こえなくても時間内で回答を選択するスピードが身についたと考えられる。

5. 7 授業外課題 (Quizlet)

自律学習が万が一上手くいかなかった学生のためにも、全員共通課題としてQuizletを課した。Quizletはオンライン上の単語学習システムである。学習方法が7つあり、ゲームモードではQuizlet Live (協働ゲーム)、Blast (小惑星を打ち落とすゲーム)、マッチがあり、復習と暗記モードでは、単語カード、テスト、学修、理解度チェックがある。中田 (2023) によると、様々な英単語学習アプリの中でも無料で使用できる機能が多いとされているアプリである。Quizletは本学の英語授業でも過去に使用されたことがあり、原 (2020) によると質問紙調査と自由記述の結果、ゲーム性があるQuizletは学生が一番効果的であると感じた学習方法であった。今までのQuizletの使用法と違い、既存の単語リストの学習をするだけでなく、課題で全員が自分で作成した単語リストから、Quizletの問題を30問以上2回作成させ、学生がお互いの問題を解く機会を授業時間や課題で設けた。

学生は、「English used at the airport」や「TOEIC知らなかった単語1」などのセットを作成した。

5. 8 TOEICプロジェクト (自律学習)

全員が3年生で「プロジェクト2」といういわゆるゼミを同時期に履修しており、全員が各々の教員の専門分野に関する研究レポートやプロジェクトに取り組んでいる、本授業でも「TOEICプロジェクト」と称し、英語学習を自分のプロジェクトとして責任をもって行ってもらったこととした。研究レポートと同じように自分自身の英語学習の問題点を見つけ、計画し、

方法を選択し、再調整し、繰り返し、考察をするという課題を与えた。いわゆるメタ認知を使用した学習である。

学生は授業で紹介された英語学習やそれ以外の自分が継続できそうな学習方法を選び、8週間にわたって、進捗状況を学習成果のスクリーンショットと共にLMSで提出した。最後にTOEICプロジェクトを通じて学んだ内容を振り返り、クラス全体に発表した。その際もただ発表するだけでなく、自分が学んだ内容からTOEIC形式の問題を作成することを課した。

音楽アプリで学習した学生はOne Directionの歌の歌詞からTOEIC形式のリスニング問題を作成し、全員で解いた。好きな俳優のインタビュー動画からリスニングのPart 3の問題を作成した学生もいた。

5. 8. 1 TOEICプロジェクトの英語学習方法の例

18名学生が使用した学習方法を示す（表2）。一人で複数の方法を用いた学生が多いことや、単語帳や問題集などの従来の学習方法を多くの学生が選んでいることがわかる。しかし英語学習を自分の生活と上手く結びつけ、音楽アプリでダンスの振付をする際に英語の歌を使用し、歌詞を理解することで、英語学習と振付の両方に役立ったと発表した学生もいた。

表2：学生が選んだ英語学習方法

	TOEIC単語帳	TOEIC問題集	文法参考書	アプリを使った学習	YouTube	その他
1	TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ	TOEIC文法問題で る1000問 TOEICテスト究極 のゼミ Part 5 & 6、TOEIC 公式問題集	エバーグリーン	音楽アプリSounter	Kevin's English, Braisians, ランカル英会話	中学生向けの英語 の模擬授業作成 オンラインゲーム を英語で 『おかしなガム ボール』をNetflix で見る
2						
3						
4						
5						
6	TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ			Chat GPTと英会話	This is 英会話	
7						
8						
9						
10						
11	ターゲット		English Grammarin Use	Chat GPTで英作文	teacher vlog、 This is 英会話	アルバイトで使う 日常英語フレーズ を覚えて、実際に アウトプットする

	TOEIC単語帳	TOEIC問題集	文法参考書	アプリを使った学習	YouTube	その他
12					TOEIC Part 2 100本ノック	
13	TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ					
14	TOEICテスト英単語 ターゲット3000	TOEIC公式問題集				
15					英語の耳を作る！ リスニング訓練	
16				TOEIC Part 5, BBC Learning English	英語のスピーチ	
17				Duolingo	海外インタビュー 動画	英語の文献で英語 学習
18	TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					

5. 9 TOEICの結果

授業最終回で履修者18名中15名がTOEICを受検した。インフルエンザ等の体調不良で受検できなかった学生もいた。目標の500点以上を達成した学生は5名であった。あと一步で目標に到達できなかった490～495点が2人いた。授業開始前のクラス平均点は380.6点であったが、終了後は442.7点となった。平均点としては62.1点のアップであった（表3）。授業前後でスコアがアップした学生は11名で、一番アップ率が高かった学生2名は150点アップであった。授業前後でスコアがダウンした学生も4名いた。授業前後のスコア分布の表3に示す。490点以上の7名の学生の共通点は、出席率が高く、自律学習の進捗状況の提出率が高かった学生である。

表3：授業前後のTOEIC平均点

	7月TOEICスコア	1月TOEICスコア	差
平均点	380.6	442.7	62.1
受検者数	17	15	

表4：授業前後のTOEICスコア分布

	7月TOEICスコア	1月TOEICスコア
0 ～ 300	2	
301 ～ 350	1	3
351 ～ 400	7	3
401 ～ 450	7	2
451 ～ 500	0	2
501 ～ 550	0	4
551 ～ 600	0	1
	17	15

5. 10 「自律学習」に関するアンケートの結果

質問項目は「English 6A」の授業内活動・授業外課題に関する質問、自律学習に関する質問、記述回答を含む全19問からなる。Microsoft Formsを使用し最終授業内で回答させ12名の回答があった。

5. 10. 11 授業内外活動・課題に関する質問の結果

授業内外活動・課題に関しては「Quizlet」と「問題作成」の項目以外はすべての項目において「～に役立った」という質問に対して「そう思う」と「思う」という回答であったことから、活動や課題の選定に大きな問題はなかったことがわかる。



図3：授業内活動・授業外課題に関する質問の結果

5. 10. 12 自律学習に関する質問の結果

a. 計画性

「全体的に（English 6）はTOEICスコアアップに役立った」に全員が「そう思う」と「思う」回答しているが（図3）、「英語学習が計画通りにできた」という問いの回答にばらつきが見られる（図4）。計画通りにできた理由とできなかった理由として、以下に学生の記述を示す。「毎日できなかった」という記述が数件あり、計画をする際に、毎日学習する必要はなく、週に何回や1週間で何時間など自分の生活スタイルに合わせた学習計画で良いという指示を出しておく必要があった。

英語学習が計画通りにできた

● そう思う	8.3%
● 少しそう思う	41.7%
● どちらでもない	16.7%
● あまりそう思わない	25%
● 思わない	8.3%

図4：「英語学習が計画通りにできた」の回答

「計画通りにできた」に「そう思う」「少しそう思う」と回答した理由

- 「計画通りにできたが、リーディングが弱いことを知りながら、リスニング対策ばかりしていたのがよくなかった。」
- 「自身のできる範囲での学習内容だったので、計画通りできました。」

「計画通りにできた」に「どちらでもない」「あまりそう思わない」と回答した理由

- 「毎日継続することができなかったから。」
- 「全くできなかったわけではないが、出来る日とできない日に大きな差があった。」
- 「机に向かって勉強するのが苦手なため、隙間時間やどこにいても取り組めるようなものを探しました。勉強に選んだこと自体は自分に合っていたと思いますが、毎日何時間やるなどを決めて取り組むことはできなかったため、計画通りできたかと言われれば完璧ではないと思います。」

b. 継続できた／できなかった学習方法

継続できなかった学習方法は、多い順に「文法参考書」、「問題集」、「単語帳」といういわゆる勉強をイメージする方法である（図5）。英語に苦手意識を持った学生にはこれら以外の方法が継続しやすいと考えられる。継続できなかった理由は選択式で回答してもらい、「やる気がおこらなかった」、「学習に割ける時間がなかった」、「学習法が自分に合わなかった」の順が多かった。

継続できた学習方法は、多い順に「YouTube」「単語帳」「音楽アプリ」と楽しみながらできる方法である（図6）。「単語帳」が両方に入っていることから、高校からの語彙学習イコール単語帳という認識が定着していることがわかった。継続できた理由として、「隙間時間」、「どこでも」、「手軽に」というキーワードが見つかった。他の授業の課題や就職活動、アルバイトなどという生活の中で学習時間を確保するためには、机ではなくスマートフォンでできることが継続に必須であったようだ。継続できた理由として以下のような記述があった。

- 「単語帳は高校生から空き時間に勉強する習慣が身についていたためできました。」
- 「YouTubeを見られる環境であればいつでもどこでも見られることが出来るので継続できました。」

9. 継続できた学習方法を選んで下さい。(複数回答可)

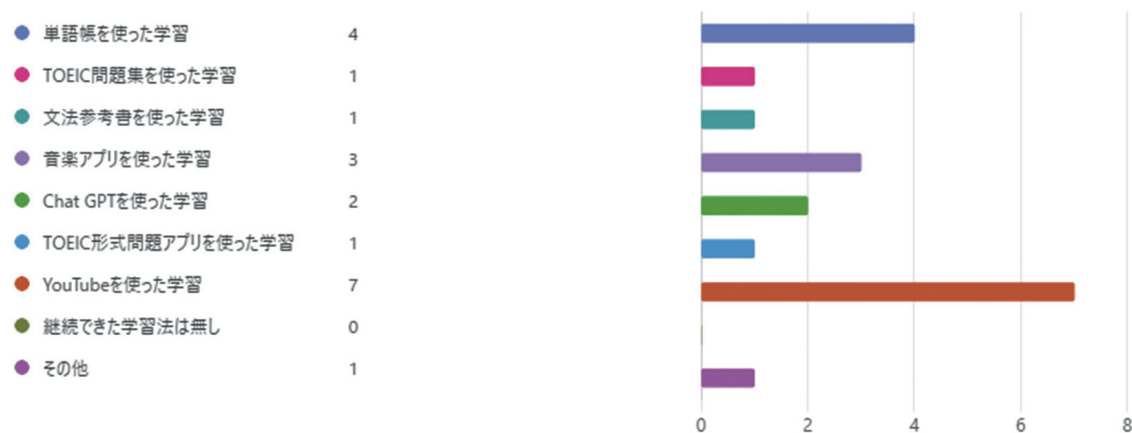


図5：「継続できた学習方法」の回答

11. 継続できなかった学習方法を選んで下さい。(複数回答可)

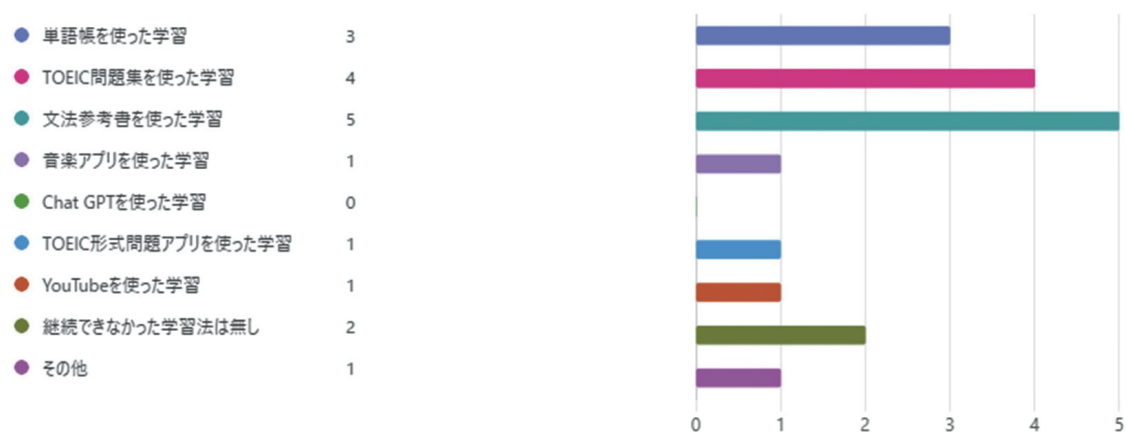


図6：「継続できなかった学習方法」の回答

c. 英語学習への意識の変化

「自律学習（TOEICプロジェクト）を行ったことで英語学習への意識が変わった。」に1名以外が「そう思う」「少しそう思う」と回答した。学習方法に対する意識とモチベーションに対する意識が変化したことが記述回答からわかる。「あまりそう思わない」と回答した学生は、「ほとんど勉強しなかった。」と回答し、しかし「TOEICの教科書の内容を発表をするとなると、自分がしっかり理解する必要があるため、その時は自分でまとめながら勉強できたのが良かった。」と書いており、自律学習ではなく授業内の活動が勉強するモチベーションになっていたことがわかる。

自律学習（TOEICプロジェクト）を
行ったことで英語学習への意識が...

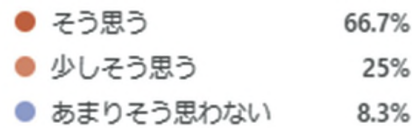


図7：「英語学習への意識の変化」についての回答

「そう思う」「少しそう思う」を選んだ理由

学習方法に関するコメント

- 「英語を勉強科目ではなく、より物事を楽しむためのものとして認識することができた。」
- 「いままでTOEICを適当に解いていたが、自分で勉強することで意外と簡単な仕組みがある部分に気づくことができた。」
- 「毎日英語に関連する動画をYouTubeで視聴するようになったから。」

モチベーションに関するコメント

- 「テストに対してのモチベーションが変わったため。」
- 「TOEICに対して取り組む姿勢が変わりました。500点を取るという明確な目標がある為、自分できちんと勉強しないといけないという意識が芽生えました。」
- 「今回TOEICで点数が取れず、今までで1番悔しい思いをしました。そのため、もっと英語を勉強したいという気持ちが強くなりました。」

d. TOEICスコアアップへの影響

「自律学習（TOEICプロジェクト）はTOEICのスコアアップに役立った。」に対する回答はスコアが上がった学生も下がった学生もいることから以下の様になった。

自律学習（TOEIC Project）はTOEICの
スコアアップに役立った。

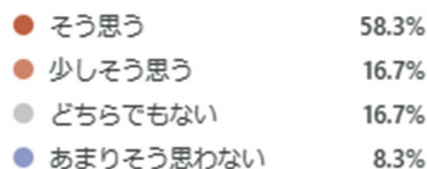


図8：「英語学習への意識の変化」についての回答

「そう思う」「少しそう思う」を選んだ理由

- 秋学期にプロジェクトを通して自分に合った英語勉強を模索し、取り組むことができたからだと思います。授業外で英語を学習する時間を日常的に取り入れることができた為、役立ったと思いました。

- リスニングは少し伸びていたのではないかと思った。また、YouTubeで勉強したことが出てきたので選択しました。

「どちらでもない」の回答理由

- スコアを上げるためにはもう少し時間とモチベーションが必要だった。
- スコアは上がらなかったがもっと真面目に取り組んでいればスコアアップできたと思う

e. TOEIC（英語）学習への苦手意識の低下

この授業を履修した学生は、国際学部に入學し、複数回TOEICを受検しているにもかかわらず、スコアが伸び悩んでいたことで、TOEICや英語全体に対して今までネガティブな感情を抱えていたことがわかった。しかし本授業で、それらの苦手意識が軽減されたことが記述からわかる。それだけではなく、今後も英語学習を継続したいという記述も見受けられる。

以下に学生の記述例を示す。これらの記述は「その他「English 6」の授業を振り返って感じたことを自由に書いて下さい。」に対する記述である。

- 「英語が苦手な中、国際学部に入り勉強してきましたが、今までTOEICの結果も良くなく、学習している時間に見合った結果が出ないことに対して、残念な気持ちがありました。しかし、この授業の中でTOEIC500点を取るためにどのような取り組みをすればよいのかを自分で考え、またみんなの取り組み方を見ることができたことで、周りが頑張っているから頑張ろうという気持ちで学習を継続することができました。TOEIC500点という目標を達成することができて良かったです。」
- 「TOEICの勉強と聞くと嫌気がさしていたが、この授業で自分に合う勉強法を知ることができたので、すごく良い機会になりました。この授業で身につけた自律学習の基礎を活かし、1年間英語学習しようと思います。」
- 「今回のEnglish 6の授業で感じたことは、難しい方法で勉強するのではなく、自分にあった方法で勉強すれば良いということです。English 6の授業は終了したけれど、毎日YouTubeで動画を視聴するのは欠かさずに行いたいと思います。」
- 「この授業を受けてなかったら国際学部なのにTOEICの勉強をすることはなかったと思います。自律学習者の話をされた際にはとてもやる気が湧きました。」

6. 課題

サンプル数が少なく結果は一般化することはできない。履修者全員が目標に到達できなかったことが課題である。しかし自ら選んだ学習方法で勉強することで、英語やTOEICに対しての苦手意識が減り、英語学習を継続したいという学生もいたことがわかった。

教員からの指導としては、自律学習の進行状況の提出が毎回できなかった学生への声掛けが足らなかったことが問題であったと考える。選択した学習方法が合わなかった学生もおり、学習計画と最終発表だけでなく、中間報告の機会を設けることで、学習方法の変更やモチベー

ションの維持などに影響があったかもしれない。本授業実践の課題点を修正し、次年度以降の授業に生かしていきたい。

参考文献

- えいごネット https://www.eigo-net.jp/easy_readings/easy_readings-3473
- 一般財団法人英語教育協議会（ELEC）文部科学省 12月27日閲覧
- 原めぐみ.(2019). TOEIC 対策単語テストのための語彙学習方略の効果検証（実践報告）. 追手門学院大学国際教養学部紀要, (13), 61-75.
- 加藤聡子, 山下尚子, 関屋康, ジョー・マイナード (2021). 『英語教師のための自律学習者育成ガイドブック』 神田外語大学出版局.
- 小嶋英夫.(2007). 英語科教員養成プログラムの研究開発 -大学教育の新しいパラダイムに基づいて-. 教員養成学の誕生 -弘前大学教育学部の挑戦-』 遠藤孝夫・福島裕敏（編著）. 東京：東信堂. 第9章, 174-196.
- 小嶋英夫, 尾関直子, 廣森友人 (2010). 『成長する英語学習者：学習者要因と自律学習』 株式会社 大修館書店.
- 宮原淳.(2020). TOEIC® スコアアップのための自律的な学習 -体験記の計量テキスト分析から. 岐阜聖徳学園大学紀要. 外国語学部編, 59, 125-134.
- 中田達也 (2023). 『究極の英語学習法』 株式会社 KADOKAWA.
- Quizlet <https://quizlet.com>
- 関戸冬彦&柳瀬真紀 (2017). 大学英語科目におけるTOEIC授業の可能性：自律学習者を育てる授業実践報告. マテシス・ユニウェルサリス, 19(1), 85-106.
- 鶴岡公幸, 佐藤千春, Matthew Wilson (2017). 『映画シナリオで学ぶ英語表現365』 IBCパブリッシング.

資料 1

Unit 08-1 p.80 ラジオ放送・宣伝	
It is clear now, but rain () () () start falling this evening.	現在は晴れていますが、今晚から雨が降り始めるでしょう。
You should () an umbrella () you.	お出かけの際には傘を忘れずにお持ちください。
First Avenue is currently () () traffic () to road construction.	一番街は、道路工事のために、現在通行止めになっている。
The temperature will continue to be () () for this time of year.	気温は今の時期、平均以下が続くでしょう。
The () () between TW Motors and LEG have just started.	TWモーターズとLEGの間の、合併交渉が始まりました。
The sale () () next Friday.	セールは来週の金曜日まで続きます。
We'll give you () () 40 percent () the regular price.	通常価格より最大で40%割引いたします。
The rain we've been having () the () () days will end today.	ここ、2・3日降り続けている雨は今日には止むでしょう。
The new company can offer services to companies () () family-owned small businesses () large corporations.	新会社は、家族経営の小企業から大企業にまで、サービスを提供できます。
You can save up to 50% () () () in the store.	店内の全商品が最大50%オフです。
Although the sale lasts for a month, some products () () ().	セールは1か月続きますが、売り切れとなる商品もでてくるでしょう。
You'd () () !	お急ぎください！
Wouldn't you like to spend () () with your family ?	家族との充実した時間を過ごしたいと思いませんか？

資料2 質問項目

A. 「English 6A」の授業内活動・授業外課題について回答して下さい。以下の質問に対し、あなたの考えや気持ちに近いものを、「そう思う」「少しそう思う」「どちらでもない」「あまりそう思わない」「そう思わない」から選択して答えて下さい。

1. ペアでプリントのフレーズを覚えて発表することは語彙学習に役立った。
2. TOEIC形式の問題を作成することはTOEICのスコアアップに役立った。
3. ペアで教科書の問題をみんなの前で解説することはTOEICのリーディングパートの解答を理解することに役立った。
4. Quizletは語彙学習に役立った。
5. Quizletで自分の単語リストを作成することは語彙学習に役立った。
6. 全体的に「English 6」はTOEICのスコアアップに役立った。

B. 自律学習について回答して下さい。

7. 英語学習が計画通りにできた
8. 上の回答を選んだ理由を書いて下さい。(記述回答)
9. 実践した英語学習方法を全部以下から選んで下さい。(複数回答可)

単語帳を使った学習	TOEIC形式問題アプリを使った学習
TOEIC問題集を使った学習	YouTubeを使った学習
文法参考書を使った学習	その他
音楽アプリを使った学習	継続できた学習法はなし
Chat GPTを使った学習	
10. 継続できた学習方法を選んで下さい。(複数回答可)
11. 継続できた理由を書いて下さい。(記述回答)
12. 継続できなかった学習方法を選んで下さい。(複数回答可)
13. 継続できなかった理由を選んで下さい(記述回答)
14. 自律学習 (TOEICプロジェクト) を行ったことで英語学習への意識が変わった。
15. 上の回答を選んだ理由を書いて下さい。(記述回答)
16. 自律学習 (TOEIC Project) はTOEICのスコアアップに役立った。
17. 上の回答を選んだ理由を書いて下さい。(記述回答)
18. 授業の内容で改善すべき点がありますか。(記述回答)
19. その他「English 6」の授業を振り返って感じたことを自由に書いて下さい。
(記述回答)